



谷自治振興会主催の「タニマ・デ・シネマ野外映画会」が谷笑楽校校庭で行われました。

バーベキュー大会も行われ、参加者は家族や友人とバーベキューを楽しみ、映画鑑賞。校庭に設置された巨大スクリーンでは、子どもたちに人気の映画「はたらく細胞(実写版)」が上映されました。

夏休みとあって多くの小中学生が参加。芝生の上で寝転がったり、友達と話をしたりと、映画を見ながら夏の夜のひと時を楽しんでいました。



開放的な雰囲気映画鑑賞を楽しみました

**迫力の大スクリーン
タニマ・デ・シネマ野外映画会**

8.2
土

頓原交流広場で、第36回とんばらふる里夏祭りが行われました。

盆踊りや頓原音頭踊り、頓原中吹奏楽部の演奏、飯南牡丹組のよさこいなど、ステージイベントが盛りだくさん。仁多乃炎太鼓や歌謡ショーも会場を一層盛り上げていました。

ヨーヨー釣りなどの夜店も並び、お目当てのお店へと走る子どもたちの楽しそうな姿も見られました。

祭りの終盤では、次々と打ち上げられた花火が夜空を彩り、観客からは歓声が上がりました。



間近で打ち上げられた花火は大迫力

**1000発の花火が彩る
とんばらふる里夏祭り**

7.26
土



自転車で急勾配を駆け上がる飯南ヒルクライム2025が開催されました。

美郷町から飯南町にかけての全長7.7キロメートル、高低差400メートルのコースは、中国地方最大級。総勢142人の参加者は、性別や年齢別のクラスに分かれて疾走しました。沿道から大きな応援の声が聞こえると、手を挙げてこたえる場面も。

表彰式では、各クラスの上位入賞者が賞状と副賞を受け取り、会場からは拍手が送られました。



ゴールに向けて一斉にスタート

**約40度の山道をひたすら登る！
飯南ヒルクライム2025**

7.21
月

谷公民館主催の「やまめのつかみ取り大会」がふれあい養魚場(井戸谷)で行われました。

年齢別に2グループに分かれ池に入り、つかみ取りがスタート。低学年の子どもたちは歓声を上げながら、素早く逃げるヤマメを追いかけていました。

高学年の子どもたちが狙うのは、30センチ近くある大物。物陰に潜んでいないか注意深く探し、狙いを定めて手を伸ばしていました。

つかみ取りを楽しんだ後は、谷青年協議会の協力により、ヤマメの塩焼きが振舞われました。



一番大きなヤマメを探す子どもたち

**大物を捕まえる！
やまめのつかみ取り大会**

7.20
日



雲南エネルギーセンターでごみを固形燃料にする過程を見学

飯南町社会福祉協議会主催の「サマーボランティアスクール」が開催され、小中学生23名が参加しました。

参加者は飯南町のごみ問題の説明を受けた後、雲南エネルギーセンター(雲南市加茂町)を見学。ごみをエネルギーに変える仕組みを学びました。

物を大切に使うきっかけとして、絵本作家かげやまきさんによるヒノキのマイ箸と箸置きづくりも体験。参加した小学生は「ごみを減らすことの大切さが分かってよかった」と話しました。



大切に使いたくなるマイ箸と箸置きが完成

**ごみ問題について考える
サマーボランティアスクール**

7.31
木



かげやまきさんと電熱ペンで箸置きにイラストを描く参加者

カヌーの里おち(美郷町)で、町内5公民館共催事業「レッツチャレンジアウトドア」が行われました。

町内の小学生10名が参加し、江の川でカヌーを体験。インストラクターから、パドルの使い方やカヌーの乗り降りなどの説明を受けた後、川に入りカヌーを操作しました。

はじめはパドルの使い方に苦戦していましたが、すぐに慣れ、笑顔で川に漕ぎ出していきました。

参加者は、水面から見る風景や、穏やかな川の流れを楽しみながら、カヌー体験を満喫しました。



インストラクターとともに、上流を目指しました

**夏休みの挑戦
5つの公民館が共催カヌー体験**

7.25
金

町内で活動するALT(外国語指導助手)のラブ・ランデンさんとドーソン・ダニエルさんによる英会話教室が開催されました。

英会話教室は、英語や多文化に触れてもらいたい、ALTの2人が企画。カードゲームなどを使い、楽しみながら英語を学びます。

子どもから大人まで誰もが参加できる英会話教室。参加者全員でジェスチャーを使ったクイズをしたり、グループに分かれて会話を楽しんだりしながら交流を深めています。

英会話教室は毎月第2・第4木曜日の18時から来島交流センターで開催されます。



英単語を使ったゲームに挑戦する参加者

**英語で話してみよう
ALT英会話教室**

7.24
木